

地域人材ネット

自転車で楽しい“まち”をコ・クリエイション

黒川 剛 (くらかわ たけし)

CCCチャリン・コ・クリエイション株式会社 代表取締役社長



○ 登録者情報

所在地

鹿児島県鹿屋市

略歴

放送大学 教養学部(生活科学コース・発達と教育専攻) 卒業

1982-1988年 日本国有鉄道

1988-2021年 鹿屋体育大学

・自転車競技部設立・監督就任(1995年-退職まで)

・国立大隅少年自然の家出向(1998年-3年間)

・非常勤講師/自転車競技授業(2004年-5年間)

・事務職から教員へ転向(2012年-退職まで)

2016年-現在 シェルブルー鹿屋プロサイクリングチーム(2016年-創設者・相談役、2021年-GM兼総監督就任)

2021年-現在 CCCチャリンコ・クリエイション(株)(代表取締役社長就任)

【主な経歴】

1994-2017年 日本自転車競技連盟評議員

1996年-現在 サイクルシティ南さつま推進協議会委員

1998年-現在 鹿児島県自転車競技連盟理事長

2003-2005年、2014-2017年 九州自転車競技連盟理事長

2006-2016年 鹿児島県体育協会競技力向上委員

2006年-現在 日本学生自転車競技連盟理事

2013-2021年 日本自転車競技連盟理事

2013年-現在 FM鹿屋「チャリンコ・パラダイス」パーソナリティ(毎月第1月・30分番組)

2021年-現在 鹿屋体育大学自転車競技部後援会長

2021年-現在 鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会座長 他

【主な受賞歴】

2006年 第44回南日本スポーツ賞優秀指導者賞(南日本新聞社)

2014年 奨励賞(日本オリンピック委員会)

2015年 トレーニング科学研究賞奨励賞(日本トレーニング科学学会)

2016年 市政施行10周年記念市民特別賞(鹿屋市) 他

【関連資格】

2004年 日本サイクリング協会公認1級ディレクター

2006年 日本スポーツ協会公認自転車競技上級コーチ

2008年 日本自転車競技連盟公認1級審判員 □ □

著書・論文等

【主な論文】

2016年 大学クラブチームと地域が連携した自転車スポーツイベントの成功事例:全日本インカレの誘致から運営まで(イベント学研究)

2015年 若年女性スポーツ選手における種目別の骨密度についての研究-一定荷重性競技を中心に(九州・山口スポーツ医・科学研究会誌)

以上筆頭執筆、他共著多数

○ 自転車で楽しい“まち”をコ・クリエイション

取組の内容

小さな頃から自転車が大好きだった私は、1995年、勤務先の国立鹿屋体育大学に自ら自転車競技部を立ち上げ、監督に就任すると「自転車メジャー化の為に人材育成」を理念に選手育成に没頭しました。振り返ると指導した50%の61名が全国チャンピオン(全国優勝延べ335回)になり、併せて50名超の日本代表(含五輪選手5名)も輩出していました。

そして最先端の科学トレーニング、国内大学初の企業スポンサー制、地域密着等々の斬新な取り組みは、大学スポーツマネジメントのロールモデルとなりました。

同時に自転車を活用した地域創生活動も実践してきましたが、イベント、観光、健康、エコ、教育、交通、国際交流等に取り組む中で、出会った多くの自治体で「自転車活用による“まち”づくり」を掲げながら、この分野の専門家が殆どいないためアドバイスが受けられず、業務遂行に大変苦慮されていることが解りました。

そこで私の経験や知識を生かして、皆さんと一緒に「自転車で楽しい“まち”をコ・クリエイション(共創)」するための新しい取り組みを始めました。



鹿屋市の学校跡に作った自転車の交流拠点「リンジンベース」、自転車店とトレーニング施設を併設、クラウドファンディングで約700万円を集めてオープンした。



鹿児島県が推奨するサイクリングルート設定に専門的立場でアドバイスを行う。2021年には関係者と連携し種子島、屋久島、甑島、北薩の4ルートを作った。

実績

○世界室内自転車競技選手権(2001年:加世田市開催/11年には鹿児島市で開催)

※3日間の観客動員10万人、経済効果10億円と公表されました。

○ツールドおおすみサイクリング大会(2001年～現在/鹿屋市発着とする大隅半島)

※例年1000人規模の国内有数の人気イベントとなっています。

○子供向けサイクルスポーツ教室(枕崎市他)

○国内外プロ・大学チーム等の合宿誘致及びアテンド

○県・各市町等と連携したサイクリングコースの設定 等

工夫した点や苦労した点

その“まち”ならではの特色豊かなイベントになるように、関係の皆さんとコ・クリエイション(新しい価値を共創)することを念頭に、開催地や参加者のニーズをしっかりと伺うことにしています。

例えば「ツールドおおすみ」なら毎年のコースを敢えて変更することで、リピーターの皆さんをマンネリ化させない。地元のプロチーム、大学チーム、卒業生の日本代表選手達をアテンド役として、交流を図ることで満足感を一気に引き上げるなどの工夫をしています。

ひとことPR

私は自転車競技の発展に邁進する傍ら、ライフワークとして大好きな「自転車」を活用した“まち”づくりにも取り組んでいます。

「色んな形で自転車を楽しんで欲しい」「自転車をきっかけに我が“まち”を訪れて欲しい」

皆さんにピッタリの「自転車で楽しい“まち”をコ・クリエイション♪」と一緒に始めましょう！

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
○ 地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域プランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

CCCチャリン・コ・クリエイション(株)	https://www.ccc-kanoya.com/
シエルブルー鹿屋	http://cielbleu-kanoya.com/
鹿児島県自転車競技連盟	https://kgcf.hatenablog.com/archive

連絡先

メールアドレス	info[アットマーク]ccc-kanoya.com	CCC電話	080-7884-1744
---------	--	-------	---------------

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。